

「令和6年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.15)」

■ 研修時期・研修先

時 期：令和7年2月3日～2月4日
(2日間)

研修先：株式会社五十嵐ファーム
(奥州市)

■ 研修生について

千葉県在住のRさん。東北地方での新規就農を目指して、農業体験や相談活動に取り組まれています。就農に向けて自分に合う栽培品目を見つけないか、農業は向いているのか確認したい、との動機からお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

奥州市内の3農場で栽培ハウスを39棟設置しており、栽培面積は117a。5～12月にはピーマン、12～2月はこまつなを施設で生産。主に県内のJA、スーパー、小売等へ出荷。化学肥料を極力使用しない栽培をしています。

就農を目指す研修生を受け入れており、地元で独立農家としてご活躍されている方も輩出しています。

■ 研修の内容

こまつなの袋詰め及び収穫、ピーマンの鉢上げ作業を行いました。



■ 研修の感想

農業を始めたい気持ちは、研修前よりも強くなったとのこと。「研修先で、冬季に実施し

ている作業を一通り経験できた。就農に向けて、たくさんのアドバイスを頂けて良かった。」とのことでした。

なかでも、五十嵐代表取締役からこまつなの袋詰め作業について、食味を長持ちさせることと、きれいに仕上げるため機械化せずに手作業で行っている、という理由に興味を持ったとのこと。

五十嵐取締役からは、作目の選定の考え方や農地の取得方法、経営等について、地域の状況やご自身の経験も含め惜しみなくお話いただき、「関係機関を有効活用して情報収集を行い就農に繋げてほしい。自分で動くことが大切。」とのアドバイスをいただきました。



■ 今後の予定

今後も、就農に向けて情報収集を行い、就農先や作目について決めていきたい。